

平成20年6月5日

ダム守同心情報連絡票(第27号)

この情報連絡票は、灰塚ダムのダム守同心の方々並びに関係者の皆様に三次河川国道事務所灰塚ダム管理支所から灰塚ダム及びハイヅカ湖に関する情報をお届けするものです。

1. 放流警報の吹鳴(すいめい)試験を行います。



灰塚ダム～馬洗川合流点までの上下川には、放流警報局が15箇所あります。この警報局は“ダムの上流で降った大雨”により、下流河川の水位が急激に上昇する場合に、川の中で遊んでいる人、釣りをしている人などに対して、河川内からの退去や川へ近づかないように注意を促す目的で、アナウンスとサイレン(もしくは疑似音)を鳴らします。

この度、この放流警報局のスピーカーとサイレンの試験(吹鳴試験)を実施し、正常に動作することを確認します。

試験は、灰塚ダムから警報局毎にスピーカーとサイレンを鳴らし、下流の警報局へ向かって確認します。

付近にお住まいの皆様へは、ご迷惑をお掛けしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。

試験実施日時:平成20年6月12日(木)9:00~17:00

6月13日(金)は予備日とします

(天候などにより12日に実施できなかった場合に実施)

2. 灰塚ダム諸量

本日17時現在のハイヅカ湖への流入水量は毎秒5.4トン、ダムから下流への放流量は毎秒6.9トンです。

先週からの降雨により、ダムの水位は常時満水位より30cm程度高くなっています。

オノ峠広場など水際が多少上がっていますので、湖面利用等される場合は注意願います。

3. 本号の最後に

今週に入り、曇り空が続いており中国地方の梅雨入りもそろそろだと感じられるようになってきました。梅雨といえば、雨の日が続きジメジメする日が続きます。洗濯物が乾かないなど嫌われる原因もありますが、休みの日に紫陽花を觀賞したり、雨音とカエルの合唱に耳を傾けると梅雨も意外と楽しくなるかもしれません。

5月13日に、国土交通省と関係機関(県・市等)合同で、災害対策訓練を実施しました。大雨が降った場合の、情報連絡・災害時の対応などを再確認致しました。

地球温暖化による異常気象と言われて久しいですが、災害時にも地域の皆様のいきいきとした暮らしを守るため、職員一同心を引き締めて灰塚ダムの管理にあたりたいと思います。

◇ 問い合わせ等連絡先 ◇

国土交通省 三次河川国道事務所 灰塚ダム管理支所

支所長 今岡 俊和 (imaoka-t87mb@cgr.mlit.go.jp)

事務係長 片山 直行

〒729-4302 広島県三次市三良坂町仁賀1575

電話:0824-44-4360(代) FAX:0824-44-3544